レッスン：12”A”

　テーマ：エーテル・ダブルと肉体との関係

　DETHER12.DOC/AEN.

　私たちの兄弟姉妹であり、

　スピリット、光、火の子供たちへ。私たちは常に絶対なる神、聖なる存在に包まれています。

　　人間の受精卵は9ケ月で成長し、子供が誕生し、このようにして人間は私達が知っている3次元の物質界に足を踏み入れ、子供にとってLifeの現象のサイクルがスタートします。このサイクルは不確かな年月の後に、一般に死と呼ばれる出来事、あるいはエレブナでは死の現象と呼ぶ出来事によって終わります。

秘儀の教えにおいて、私達は人間の身体について話し、3つの独立した身体、さらにそれぞれの身体のエーテル・ダブルについて触れます。

人間が時間・空間というサブステート（＊副的状態）に肉体を持って生きる、あるいは存在している時には、3つの身体とそれぞれのエーテル・ダブル（＊エーテル体）があります。

　このレッスンでは、さらに詳しく3つの身体とそれぞれのエーテル・ダブルについて述べ、それらの機能とそれらが肉体に及ぼす影響について分析します。私達は粗雑な肉体、サイキカル体、ノエテイカル体を有し、それら3つの身体にはそれぞれエーテル・ダブルがあります。3つの身体を結び付けているのはエーテル・ダブルです。つまり、エーテル・ダブルは接続リンクなのです。

　全てはマインドであり、マインドを通じて様々な異なったレベルの波動が生じると述べました。物質もまたマインドですが、非常に低いレベルのバイプレーション、波動で、**物質の全ての原子には、それぞれ対応するサイキカル体とノエテイカル体があります。**

以下のことに注意してください…サイキカルの原子は物質の原子なしでも存在できますが、ノエテイカルの原子を必要とします。ノエテイカルな原子はサイキカル、および物質の原子なしでも存在できます。これは法則として人間にも当てはまります。

**人間は肉体の中に住んでおり、同時にサイキカル体と低次ノエテイカル体を有しています。死の現象により、つまり人間が肉体から去る時、人間は肉体を捨て、サイキカル体とノエテイカル体のみを有します。**

**サイキカル体もノエテイカル体も、人間が物質界に生きていた時に有していたのと全く同じ形をしています。つまり同じ身体の形をしています。しかし、違いがひとつあります。空間の大きさという意味がない4次元に移行することです。**

ということは…私達は空間について考える時、しばしば場所について考えますが、それを広さ・空間として考えるペきです。それは例えば、私の肉体がある空間を占め、他の肉体がこの同じ空間を占めることはできない、という意味です。

　サイキカル体が去ると、ノエテイカル体が残ります。人間はサイキカル体及びノエテイカル体を独立した別々の身体として使用しています。それは自分自身を超意識的セルフ・エピグノーシス、意識的セルフ・エピグノーシス、および潜在意識として、類似した表現世界において表現するためです。各身体にはそれぞれ対応するエーテル・ダブルがあり、各エーテル・ダブルは型であり、その上に類似の身体が築かれています。ですから、私達には肉体とそのエーテル・ダブル、サイキカル体とそのエーテル・ダブル、そしてノエテイカル体とそのエーテル・ダブルがあります。どれも、対応するエーテル・ダブルなくしては存在することは不可能です。先に述べたように、各身体のエーテル・ダブルは次の上位の身体に接続されるリンクとなっており、各エーテルダブルが使用するエーテル活力はその仕事によって異なります。各エーテル活力は、それぞれ刻印エーテル、感覚エーテル、運動エーテル、創造エーテルと名付けられています。

　エーテル・ダブルがそれぞれの体を築き、維持します。肉体はそれぞれのエーテルダブルによって創造され、維持されると言うことができます。しかし、再び尋ねますが、この仕事すべてを誰がするのでしょうか？勿論、聖霊（HolySpirit）がこの仕事全てを行い、そのために肉体は聖霊的現れである、と呼ばれているのです。生命を断つ、特に自殺によって自分自身の生命を断つ権利を誰も持っていないのは、これがひとつの理由です。

肉体は私達に与えられたものであり、

**聖霊の恩寵が私達のために維持してくれているのです。**ですから、いかなる人間にもそのような贈り物を濫用する権利はありません。

Page2

一般的に私達は、一日に何回も肉体に食べ物を与えることによって、本当に肉体の面倒を見ていると思い込んでいます。私達は食べ物を取り入れることについて常時真剣に考えることをせず、それゆえ毎日の食べ物は不規則になっています。時には栄養について真剣に考えて食事をし、時には食べ物の影響など考慮せずに食べたいものを口にします。これは、自分自身が肉体的存在の唯一の責任者だと信じているからです。つまり、私達は本当に自分自身、および家族の面倒を見ているという全くの錯覚に陥っているのです。

　　真剣に考えてみると、私達がこのように信じているのはむしろ悲劇的なことです。世界の大多数の人々は、肉体の各器官の機能に思いをめぐらすことをしません。例えば、消化の過程、食べた物がどのように分解されるか、健康な肉体を維持するには何が必要か等、さらに、例えば、良い歯、または良い骨格には何が大切か、肉体組織を作る食べ物は何か、即座にエネルギーを供給するのはどのような食べ物か、毎日の食事においてそれらの食物をどのようなバランスで取るべきか等。これは唖然とするようなことですが、それについて真剣に考える人は少ないようです。周囲に溢れるジャンクフード、そして植物性食品や動物性食品に無責任に使用されるホルモンなどは、それを物語っています。ですから、以上のことを少し考えれば、自分の身体の面倒を見ているのは自分であると考えるのは錯覚であることに気がつくでしょう！

　私達が肉体を維持する上でそのような無責任なことをしているのなら、サイキカル体とノエテイカル体に関してはどうなのでしょうか？それらはどのようにして発達し、維持され、面倒を見られているのでしょうか？勿論、それは4つの異なったエーテル活力…運動、感覚、刻印、創造…を有するサイキカル体およびノエテイカル体のエーテル活力を通じて行なわれています。

　肉体の創造エーテルは聖霊の監督の下にあり、人間としての決められた固体の形を発達させます。運動エーテルは血液循環、呼吸等のような潜在意識的機能において動きを与え、さらに肉体をⅩ点からY点へ移勤させる動きをもつかさどります。

　　血液循環などがないので、サイキカル体における運動エーテルは、肉体におけるのとは異なった働きをします。サイキカル体の周囲には原子が超スピードで循環しており、また遠くまで覆っている輝きがあります。これはいわゆる、聖霊の潜在意識的動きと呼ばれるものです。サイキカル体の運動エーテルはいわゆるエクソマトーシス、遠方への幽体離脱をつかさどります。これは聖霊である魂のセルフ・エピグノーシス（HolyMonadSoulSelf-Epignosis）、さらにはパーソナリティーとしてのセルフ・エピグノーシスの幽体離脱です。

これは肉体ではありえないことです。従って、

**エクソマトーシス（＊幽体離脱）はサイキカル体の運動エーテルの働き**であると結論づけることができます。

　肉体の感覚エーテルは五感の働きを可能にします…つまり、味覚、嗅覚、視覚、触覚、聴覚の機能です。私達はエーテル活力を光の中に放射させて、それが戻ってくることによって物質界を知るのです…これはいわゆる視覚といわれるものですが、その働きは非常に限られています。私達はまた、触覚によって物質界を認識します。

　　**欲求、情緒などのように人間が肉体の中にいる時に体験し、感じる気持は、肉体とは何のつながりもありません。なぜなら、それらはサイキカル体の波動、つまりバイブレーションだからです．**

肉体内にあるサイキカル体のこれら全ての波動は、肉体の行動に影響を与えるということ以外には、何の関係もありません。

　　**サイキカル体の運動エーテル、および感覚エーテルは、肉体において肉体的症状を現します。**もし、肉体が機敏な時にそれらが表現されると、怒りなどのような感情はそれが強烈な場合、心臓の鼓勤の高まり、目の拡張、顔が赤くなる等として肉体に反映され、結果的に消耗したり、衰弱したり、涙が出たりします。感覚および運動エーテルを通じたサイキカル体の働きを、私達は肉体に現れる現象によって認識すると言うことができます。

Page3

　スーパーサブスタンスのマインドを通じたノエテイカル体および低次ノエティカル体における運動エーテルは、私達が像（＊心内における像、イメージ）を形成したり、様々なステートを認識したり、空間ではなく時間において継続的想念を抱く場合に働いています。同時に、ノエテイカル体の感覚エーテルの機能があります。**肉体における創造エーテルは聖霊の絶対英知の監督下にあります。**

　　肉体は無数の原子または細胞によって築かれています。それらのセンターを通じて、エーテル活力、生命力または生命エネルギーが肉体を維持します。聖霊とパーソナリティー自体の両方の監督の下で、対応するエーテルのもうひとつの働きが行なわれます。つまり電磁気的働きです。

**脳が命令を受け取り、現在のパーソナリティーにそれを動きとして実行するよう指示します**。

それはエネルギーの動きです。サイキカル体は聖霊とロゴスの監督の下にありますが、一方、ノエテイカル体は純粋にロゴスの監督の下にあります。

　　以上述べたことは全て将来、体験、観察、分析および自己観察を通じて徐々に学ぶことになるでしよう。知識を通じて、私達は一方では強さを得ることができ、他方では私達を制限して縛り付ける無知から解放されます。今や私達はこれらの知識を得たので、異なった身体における動きと感情は、異なった結果をもたらし、その点については私達が自分自身で学ぶ必要があると言うことができます。

　運動、感覚、刻印の各エーテルはノエテイカル体および低次ノエテイカル体においてどのような働きをするのでしょうか？それは私達に考え、熟考する能力をもたらします。熟考とは時間・空間の意味内における、私達の意識のセルフ・エピグノーシスの動きを意味します。

　二元性とLifeの現象の世界においては、私たちが生を与えるイメージまたは像なしで考えることはできません。例えば、私達がある人について考える時には、その人は笑い、しかめっ面など、その人の日常的行為の表現と共に私達の心に入ってきます。同時に、感覚および運動エーテルは、私達とその人との関係に応じて、喜びまたは不満、同情または反感などを私達にもたらします。想念を通じて、私達はマインドと呼ぶこの不可解な、明確な形をもたないスーパーサブスタンスに形を与えるのです。この働きの過程に関しては、将来のレッスンにおいてあらゆる局面から学ぶことになります。そしてまた、私達の自己観察、分析などを通じて学ぶのです。創造エーテルは既にノエテイカル層において使用されています。なぜなら、死んだ像、イメージ、つまり像に生命、表現、動きがない場合には、人間はそれと共に生き、考え、熟考することは不可能だからです。

**熟考、およびいわゆるイドロプラシー（＊像、イメージの形成）を通じて、私達は意識的に、スーパーサブスタンスの不定形なステートであるマインドを超物質として使うことになるのです。**

これは不可思議な方法で行なわれ、まだその方法は誰にも理解されていません。私達には、この超物質に形態と型を与えるパワーがあります。

スーパーサブスタンスであるマインドを使用して形態と型を与えられるそれら全ての像、イメージは、どこにおいて見いだすことができるのでしょうか？ノエテイカルに属し、制限と空間の意味を越えているそれらを、どこで見つけることができるのでしょうか？

　　私達がマインドと呼ぶこのスーパーサブスタンスの使用については、将来さらに学ぶことになります。今のところは、このレッスンを注意深く学び、この中で述べた内容すべてについて深く考えてください。次回およぴそれに続くエーテルに関するいくつかのレッスンでは、一連の瞑想が与えられます。

私たちは常に絶対なる神、聖なる存在に包まれています。

EREVNA/DETHER12. DOC/A/EN/